

庁議（令和5年2月21日）結果について

- 1 開催日 令和5年2月21日（火）
- 2 場所 庁議室
- 3 出席者 市長、石田副市長、石黒副市長、教育長
市長室長、企画政策部長、総務部長
- 4 説明者 健康・子ども部長、環境部長、土木部長、資産経営課長
- 5 事務局 秘書課長、広報課長、財政課長、行政総務課長
企画政策課長、政策担当長、企画政策課主査
- 6 付議事項

（1）ネーミングライツパートナー優先交渉権者の決定について

概要	<ul style="list-style-type: none">・提案型ネーミングライツ制度により、ツインシティ大神地区に整備する「大神第3公園」と「2号水路」のネーミングライツパートナーとして、1社から応募があった。・平塚市ネーミングライツパートナー選考委員会において審議を行い、イオンモール株式会社をネーミングライツパートナー優先交渉権者として選考した。
結果	審議の結果承認された。

（2）平塚市生物多様性保全アクションプランの策定及びパブリックコメント手続きの実施結果について

概要	<p>市民団体等との協働事業として、令和元年度から3か年かけて市内西部を中心に生息・生育する動植物の状況を調査した結果をまとめた自然環境評価書を基礎資料とし、本市の目指すべき生物多様性保全のための行動計画として平塚市生物多様性保全アクションプラン（素案）を作成し、この素案に対する意見を令和4年12月2日から令和5年1月6日まで募集した。</p> <p>○意見提出状況</p> <ul style="list-style-type: none">・提出件数：13件（個人13件、団体0件）・意見項目数：55件（個人55件、団体0件） <p>パブリックコメントで寄せられた意見と市の考え方を踏まえ策定した平塚市生物多様性保全アクションプラン（案）を行動計画としたい。</p>
結果	審議の結果承認された。

7 報告事項

（1）「ひらつか子育て応援プラン（第2期平塚市子ども・子育て支援事業計画）」中間年の見直しについて

概要	<p>「子ども・子育て支援事業計画」は、子ども・子育て支援法に基づく国の基本指針により、計画期間の中間年を目安として、計画した量の見込みと実態に乖離が生じている場合は、見直しを行うこととしている。</p> <p>令和2年度から6年度までを計画期間としている「第2期平塚市子ども・子育て支援事業計画」では、中間年にあたる本年度に、計画の</p>
----	---

<p>第5章「教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策」について、再推計した子どもの人口や直近の利用実績などから今後2か年度の見直しを行った。併せて、基本理念の実現に向けて定めた事業（市の取組）の「今後の取組」について、既存事業にヤングケアラー等の支援ニーズが高い子どもに対する支援や令和5年1月から開始した産後ケア（デイサービス、ショートステイ）の取組を新たに記載する等の見直しをした。</p> <p>見直しに当たっては、平塚市子ども・子育て会議における検討を経て、県との協議を完了した。</p>
--

(2) 平塚市下水道中期ビジョンのまとめについて

<p>概要</p>	<p>平塚市の下水道が抱える課題を整理し、10年間で目指すべき方向性と取組内容を示すものとして、平成24年度に策定した「平塚市下水道中期ビジョン」が、令和3年度で計画期間満了となった。</p> <p>計画に位置付けた事業について、達成状況を取りまとめたので報告する。</p>
-----------	---

(3) 平塚市下水道事業経営戦略 令和3年度進捗状況報告書について

<p>概要</p>	<p>平塚市では、市民に下水道サービスを持続的・安定的に提供するとともに、中長期的な視点で経営環境の変化に対応し、一層の経営基盤の強化と収支が均衡する持続可能な経営を図るため、今後10年間に目指すべき方向と事業管理のあり方を示す「平塚市下水道事業経営戦略」を令和2年度に策定した。</p> <p>計画期間の初年度となる令和3年度の進捗状況を取りまとめたので報告する。</p>
-----------	---

以 上